

北茨城市(きたいばらきし)

	市章等 〒 319-1592 〈住所〉北茨城市磯原町磯原1630番地 〈TEL〉0293-43-1111 〈FAX〉0293-42-7308 〈HP〉http://www.city-kitaibaraki.jp 〈e-mail〉kikaku@city.kitaibaraki.lg.jp	地域指定 辺地(一部区域) 特定農山村(一部区域)	一部事務組合加入事業 退職手当 消防費じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害市町村会館管理 税滞納整理 工業用水道 農業共済	公営企業 法適用(上水 工水 病院) 法非適用(公共下水道 漁業集落排水)
	類型 I-O 地方公共団体コード 082155 面積 186.55 km ²			

<行政組織>

①長等(平成25年5月1日現在)

長	とよだ みのる 豊田 稔 (68歳)	任期	平成27年6月17日
		就任回数	4期目
副市長	石田 奈緒子		

②議会(平成25年5月1日現在)

議長	鈴木 和栄	副議長	鈴木 啓一
任期	平成29年3月30日	条例定数	20人
		現議員数	20人
党派別	公明2人, 民主2人, 共産1人, 無所属15人		

③職員数(平成24年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
533	348	221	185
一般行政職の平均給料月額	3,306 百円	ラスパイレス指数 104.3	参考値 ※ 96.4
全職員数の推移	平成21年4月1日	平成22年4月1日	平成23年4月1日
	587	565	558

※ 参考値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の値

④機構図(平成25年4月1日現在)

<市長> - <副市長> -
 市長 公室 - 秘書課, 人事課, 企画政策課
 総務部 - 総務課, 財政課, 税務課, 収納課
 市民福祉部 - 市民課, 保険年金課, まちづくり協働課, 保健センター

福祉事務所 - 高齢福祉課, 社会福祉課
 環境産業部 - 農林水産課, 商工観光課, 生活環境課
 都市建設部 - 建設課, 都市計画課, 地籍調査課, 下水道課
 <会計管理者> - 会計課

<消防>
 <消防本部(消防長)> - 総務課, 予防課, 指令室, 消防署
 <消防団>

<水道> -
 水道部 - 業務課, 施設課

<教育委員会>
 <教育長> - 教育総務課, 学校教育課, 生涯学習課, 小学校, 中学校, 学校給食センター, 海洋センター, 図書館

<市立総合病院> - <病院長> - <経営企画室>
 <副院長> - 事務部 - 総務課, 医事課, 新病院建設課
 - 看護部, 医療技術部, 診療部
 - 地域医療連携室, 医療安全監理室, 情報処理室

<議会>
 議会事務局

<行政委員会>
 選挙管理委員会事務局, 監査委員事務局, 農業委員会事務局, 公平委員会事務局, 固定資産評価審査委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年4月1日 合併 磯原町 華川村
昭和31年3月31日 市制施行 南中郷村 磯原町 関南村 大津町 平潟町 関本村
昭和31年3月31日 名称変更 北茨城市

②地勢・風土等

茨城県の北東端にあり、首都東京まで約180kmの距離に位置する。茨城県天心記念五浦美術館や、漁業歴史資料館「よう・そーり」、中郷温泉「通りゃんせ」など、自然と文化に触れ合える観光地として発展しつつある。

活力ある地方都市を目指し、「市民が安心して住めるまち、夢と希望のもてるまち」の実現に向け、広域的・合理的な土地利用を進めながら、安全な市民生活、快適な生活環境の保持を図るとともに、充実した市民福祉や優れた教育と豊かな文化を享受できるように、調和のとれた開発を促進している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成25年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	25,534	24,508	23,168	22,233
	女	26,059	25,137	23,858	22,849
	合計	51,593	49,645	47,026	45,082
世帯数	16,672	17,090	16,966	16,875	

④有権者数(平成25年3月2日現在) ⑤高齢人口割合(H25.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	19,289	19,809	39,098	

<産業・経済>

①生産・所得(平成22年度)

市町村内総生産	1,493 億円	就業者1人当り	7,589 千円
住民所得	1,142 億円	人口1人当り	2,429 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成22年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	5,334	3.6%	1,028	4.8%
第2次	66,855	44.8%	9,110	42.6%
第3次	76,350	51.1%	10,800	50.5%
総額・総数	149,305	-	21,379	-

③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	1,547	267	1,350
製造業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H23.1.1~12.31)
	156	7,149	242,011
卸・小売業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	439	2,887	44,329

④特産物

あんこう鍋, 天心焼, 自然薯, 花園牛, 雨情の里牛, どぶろく, 鮮魚, 干物, さつま揚げ, ひたち舞(コシヒカリ)

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成22年度決算	平成23年度決算	増減率
歳入	16,512,014	21,019,785	27.3
歳出	15,734,323	19,984,233	27.0
形式収支	777,691	1,035,552	-
実質収支	680,679	798,988	-
単年度収支	191,201	118,309	-
実質単年度収支	423,335	549,242	-

②主な歳入・歳出(平成23年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	21,020	-	4,508	27.3
地方税	5,897	28.1	6	0.1
地方交付税	5,028	23.9	1,651	48.9
国庫支出金	3,681	17.5	1,635	79.9
地方債	1,198	5.7	△ 271	18.4
うち臨財債費	796	3.8	-	-
その他	5,215	24.8	-	-
うち繰入金	190	0.9	-	-
歳出	19,984	-	4,250	27.0
義務的経費	8,251	41.3	115	1.4
人件費	3,259	16.3	△ 11	△ 0.3
扶助費	2,954	14.8	176	6.3
公債費	2,038	10.2	△ 50	△ 2.4
投資的経費	2,202	11.0	-	-
普通建設事業費	1,246	6.2	△ 30	△ 2.3
うち補助	184	0.9	△ 342	△ 65.0
うち単独	1,011	5.1	407	67.4
その他の経費	9,532	47.7	-	-
うち繰出金	2,029	10.2	-	-

③主要指標(平成23年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.33)
連結実質赤字比率	- % (18.33)
実質公債費比率	14.0 % (25.0) [10.4]
将来負担比率	88.0 % (350.0) [63.6]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成22年度～平成24年度)	0.643	[0.693]
経常収支比率	93.4 %	[88.0]
標準財政規模(平成24年度)	9,963 百万円	[14,930]
地方債現在高(A)	14,830 百万円	[22,514]
債務負担行為支出予定額(B)	1,103 百万円	[2,886]
積立金現在高(C)	2,836 百万円	[5,921]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	13,097 百万円	[19,479]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成23年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	2,001,715 (29.7)	1,747,127 (29.6)	87.3 [89.5]
市町村民税・法人 (構成比)	451,775 (6.7)	442,124 (7.5)	97.9 [97.8]
固定資産税 (構成比)	3,578,561 (53.0)	3,038,585 (51.5)	84.9 [89.4]
市町村税合計 (国保除く)	6,748,361	5,897,466	87.4 [90.5]

<公共施設整備状況>(平成23年度) ※のみ平成24年度

小学校 ※	12 校	プール	2 か所
中学校 ※	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※	4 園	老人福祉施設	13 か所
保育所	6 か所	病院・一般診療所	22 か所
図書館	1 か所	道路改良率	43.3 %
公営住宅	739 戸	道路舗装率	54.8 %
公民館等	8 か所	上水道等普及率	95.9 %
体育館	3 か所	汚水処理普及率	52.1 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
新病院建設事業	H22 ～ H25	医療の安全性の充実、建物の耐震性を強化するため、老朽化が目立つ現在の市立総合病院を立て直すための事業。	6,730
新病院関連道路整備事業	H22 ～ H25	新病院の建設に伴い、アクセスの利便性を高めるための道路を整備する。	140
図書館建設検討事業	H24 ～ H27	老朽化や閉架書庫不足の問題等のあった図書館を、人口規模にあった蔵書数を備える施設に更新し、市民の利便性の向上を図る。	1,050
災害公営住宅整備事業	H24 ～ H25	東日本大震災により家屋が被災し、自力再建が困難な被災者の居住の安定確保を図るため、災害公営住宅を整備、提供する。	2,550
甲状腺超音波検査事業	H25 ～ H26	原子力発電所事故後の健康不安について、検査希望者が甲状腺超音波検査を受けることにより、子どもの健康不安の軽減を図る。	63

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

平成25年を「復興実現の年」と位置付け、震災復興計画に基づき、水産業の再建や原発事故の風評被害の払拭、社会インフラなどの本格的な復興を図り、さらなる市勢の発展に取り組む。

<特色ある行政>

豊かな自然資源や歴史・文化などの観光資源を生かしたグリーン・ツーリズムとブルー・ツーリズムを展開。都市と農山漁村との交流拡大を図り、新たな産業の創造に努力。消防規制を緩和し、農家の民宿経営を推し進める。08年から、中心市街地の活性化と市民協働の推進を目的に、市民手作りの夏祭りを開催している。